



2025年12月22日
第97号

JR東労組 Yokohama



JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横地申第5号 「横浜線ワンマン運転について」に関する基本申し入れ（その1・運車）【全27項目】団体交渉を行う！①

1. ワンマン運転に関するお客さま周知を十分に行うこと。

【会社回答】プレスリリースにより必要な周知は行っている。なお、引き続き必要な周知は実施していく。

組合

お客さま周知について、2021年からのプレス発表、社長会見やネットによる周知、主要駅におけるポスターによる周知、横浜線と接続する周辺線区においての肉声放送による周知でよいか。

警察や消防への周知、コミュニケーションをしっかり行い、異常時対応を確実に行える体制とすること。

横浜線は南武線と同時に昨年11月に発表されている。ホームドアもセットではないと回答されていたが、とはいえ長編成ワンマンにおいて必須になっている。もっとできることがあったのでは。

様々なツールを使って周知をするべきだ。インターネットを利用しない人には伝わらないのではないか。

沿線の学校や自治体へ説明は実施しているのか。

地域との信頼関係を醸成していくといふことによいか。

会社

その通りである。ポスターは八王子支社管内含めて調整中である。

今でも様々連携している。

確認

自治体からの支援もあり、ホームドア整備とは分けて周知している。駅の放送等については、決まった時点で周知していく。

意見として承る。できることはやっていく。

関係自治体へは説明しているが、学校については数が多いため難しい。

その通りである。

2. 施策に伴う人事異動は、本人希望およびキャリアプランを前広に把握し、社員の資格や能力を十分に考慮すること。

【会社回答】引き続き、社員とのコミュニケーションを図っていく考えである。なお、社員の運用については「任用の基準」に基づき取り扱うこととなる。

組合

本人のキャリアプランを最大限尊重することは確認できるか。

社員の希望、キャリアプランはしっかり把握し、尊重していく考えである。

確認

確認する。社員が納得感を得られるよう、社員と管理者でコミュニケーションを図っていくことは確認できるか。

日頃からコミュニケーションを図っていくことの考えに変わりはない。

確認

確認する。上期と下期、面談を2回受けてきた。職種とエリアの2通り聞かれた。本人希望の把握はしっかりとされているのか。また、社員と会社で思いの一致は図られているか。

社員の考えをしっかり把握していくことが大事。どのように成長を促し、どのように配置していくかである。

特に、町田統括センターは拠点が町田駅で所在地が東京都になる。面談における注意事項で、統括や副所長から「東神奈川駅も東京都エリアに入る。仮に東神奈川駅を希望するなら具体的に記載していただきたい」といった説明が現場で行われている。こういった説明に基づき、丁寧に希望が把握されているのか。

しっかり把握している。丁寧に聞き取り、把握していくことになる。

動力車操縦免許を所持しており、運転士に戻りたいと希望している車掌専務の組合員がいる。資格と運転士に必要なスキルを有しており、希望しているのであれば叶えてあげるべきだ。

特に方針があるわけではない。資格の有無は把握しているが、総合的に勘案することとなる。

☆担務変更に対する苦情申告について

統括センター内における担務変更について発令行為はあるのか。発令行為はない。

簡易苦情申告はできないのか。

苦情処理で対応することとなる。あくまで現時点における対応であり、未来永劫お約束はできない。

動力車操縦免許とスキルを有していて、希望しているのであれば運転士に戻すべきだ！

担務変更の指示に納得できず、苦情を申告する苦情処理制度は今後も堅持するべきだ！

次号②へ続く